

てゐる。

この行事を行ふ事の期待効果は、年中行事の興味、心のやさしみ、手技、それから、個人作業の綜合効果、ミ云ふ様のこゝ。繼續作業時間は、二週間。

この週は

ふくらみ雛(手技の項参照)

唱歌 遊戯

第五週

唱歌 一回

紀元節の歌

これは先生が歌つて聞かせることにする。

遊戯 三回

出してひつこめて(律動遊戯土川五郎氏振)

遊戯をする始めに、歩いて行進する代りに「出してひつこめて」をしながらだん／＼に圓陣をつくつて行くのも興味があつて面白い。

屏風 (手技の項参照)

第八週 ひなまつり

諸道具(手技の項参照)

くす玉(手技の項参照)

雛段の完成ミ雛遊び

だるまさんのにらめっこ(ゲーム遊戯)

「ダルマサン ダルマサン ニラメッコシマセウワラフ

トマケヨ 一、二、三」

ミ歌ひながら遊ぶ。

だるまさんの鬼になる子供が一人圓の中に入り、腕くみをしながら體をゆつたり動かして圓の中を歩き廻るなり、圓の中央に足を組んで坐り込むなり自由にする。圓形にならんだ子供たちは手を連いだまゝ前後に軽く振つてゐる。終りの「一、二、三」の所で、中に居る鬼さんは

好きな相手を「一、二」で指さしてその正面に行き(あなたをわたしにらめつこしませうと云ふわけ)「三」でうんざりかんで二人でらめつこをする。笑つた方が負けで鬼になる。それを繰り返す。

第六週

唱歌 三回

春よ来い(童謡唱歌名曲全集)

柔かいやさしみのある歌の氣持をこわさない様に、可愛らしくきれいに歌ひ度いものだ。

お馬

これは歌ミして獨立に取扱ふよりも、遊戯の動作ミ一緒に歌へばよい。

遊戯 三回

春よ来い(土川五郎氏振)

女兒に向く遊戯

お馬(戸倉ハル氏振)

自由な方向に取扱つて、幾度も元氣よく續ける事が出来る。

第七週

唱歌 一回

オヒナサマ(エホンシャウカ)

年中行事の一つミして、殊にお雛祭りは子供たちにまつて本當に嬉しく楽しみなものである。自分たちの手で可愛いお雛様を製作しながら、楽しんでこの歌を歌つてゐる。

遊戯 三回

水兵(律動遊戯土川五郎氏振)

きびしくした動作で大變氣持よくする事が出来る。

第八週

唱歌 三回

キューピーさん

可愛らしく歌ふ様に。

遊戯 三回

キューピーさん

みんなに可愛がられるキューピーさん そのキューピーさんになつたつもりで、目もパッチリ開けて、両手の指もパツミ開いて可愛らしく動作をする。

雛祭りのお集り

三月三日はおかざりしたお雛様を中心に、全幼児が遊戯室に集まつて、各組の子供が代る／＼に遊戯をしたり、歌を歌つたり、お話を聞いたりして、楽しい一時を過すことになつてゐる。その後でお菓子を頂くのもうれしい事だ。

第九週

唱歌 二回

ゆりかごのうた(童謡唱歌名曲全集)

ごちらかみ云ふに、にぎやかに元氣に歌ふ歌ではなく、

靜かな氣持で歌ひたいと思ふ。

遊戯 二回

ゆりかごのうた(記事参照)

これも元氣にまじり廻る遊戯ではない。靜かに取扱ひたい。そつと可愛い赤ちやんをねんねこゝろにねかしつけるやさしい氣持をよく表はしたいと思ふ。女兒はこゝろ云ふ種類の遊戯を大變に好む。

第十週

この週は年少組の終りになるので、唱歌でも遊戯でも最初から習つたものを片つぱしからして見るのもよし、子供たちがこれが好きだま云ふのを選び出してしてもよい。

お馬

準備 二人づゝ組み自由な體形をさる。

バカバカバカ、バカバカバカ

二人が前後になり、前者は手を腰にし、後者は前者の肩に軽く兩手をのせる。そして歌に合はせて三回づゝ二度兩足を揃へて高く其の場でまぶ。

オウマガトブヨバカバカバカ

前と同じ形に二人組むだまゝスキップで自由な方向にまんで行く、最後に兩足揃へてまんでまはれ右をし、今迄後になる者が前になり、前になる者が後になつて又くりかへし行ふ。

ゆりかごの歌 童謡唱歌名曲全集

準備 圓形を作り、豫め二人づゝの組を作

つておく。

前奏 圓形を作り全生圓心を向き手をさる。そして曲に合

はせて各の手をゆつくり前後にふる。一方の足を半歩程後にひき體でこ前後に動かす様な心持で行ふ。

一、ユリカゴノウタヲ

前奏ミ同じ動作を、まへ、^{ユリカ}うしろ、まへ、^{ウタ}うしろ、ミ行ふ。

カナリヤガ

足を揃へ圓心に向いて立ち手だけの動作を行ふ、先づ右手を右上にあげ人さしゆびでゆびざし、次に左手を左上にあげてゆびざす。

ウタフヨ

両手を左右から大きく口のミところに持つて来る。顔は稍々右上にむける。

ネンネコネンネコネンネコヨ

豫め定めておいた二人の中の一方の者はしやがみ両手を肘をまげ掌を一方の肩の所で合はせその上に顔の頬の部分をのせてねむる様子をす。それと同時に立つてゐる方の者は踞むでゐる者に近い方の手を以て掌で頭を撫でてねかしつける様子をす。

二、ユリカゴノウヘニ

一番ミ同じ

ビワノミガ

右手親指ミ人さしゆびミでまるくビワの實を作り右上にあげる次に右手は下におろさすそのまゝで左手で同じくビワの實を作り左上にあげる。両手共おろさす次の動作をす。

ユレルヨ

上にあげた両手をそのまゝの形で左右に動かす

ネンネコネンネコネンネコヨ

一番ミ同じ。但し一番に踞むだ者は立つ。

三、ユリカゴノウツナヲ

一、二番ミ同じ。

キネズミガ

右手を握り胸の前に持つて来る次に左手を握りすぐ右手の下に持つて来る。

ユスルヨ

網を握つた両手を上下に動かして網をゆする様子をす

る。

ネンネコネンネコネンネココ

一番と同じ。

四、ユリカゴノユメニ

一番と同じ。

キイロイツキガ

談話

一月から二月にかけて、寒さの最もはげしい時で、雪の降る日も多いし、から風の吹くような日もある。従つてお休みする子は病氣をしてゐるからこばかりは限らず、中には用心休みもこの頃は多い時、餘程出席率のいゝ組でも四五人は休んでゐる。殊に年少組では雪でも降つた日、遠方からはる／＼登園して来た子には、「まあ、よく来ましたね」みたいな言葉でもかけずには居られない程だ。室内に籠る日が多いので、先生は次々ミ豫定を考へておかねばならない。女の子が有り合せの紙で、千代紙づくりを始めるのもこ

両手を左右から大きく上にあげお月様を作る。

カカルヨ

上にあげた両手を左右に軽く動かす。

ネンネコネンネコネンネココ

一番と同じ。

の頃。折角圖案を考へて、いろ／＼に塗るのに、粗末な紙では氣の毒と思つて、一帖ばかり改良半紙をおごれば大よろこびで、模様を工夫する。鉛筆でくる／＼ツミまいて、ちりめん紙なごにもする。男の子は飛行機をこばす。これもせがまれてすぐ興へられるやうに、つゝみ紙、不用雜誌なごを用意しておきたい。かうして手技もあそびもつかぬ事が行はれ談話の方から云へば、この保育案に掲げたものばかりでなく、外のを用意しておかねばならない。その外レコードをかける日もあり、話し合ひを面白く發展